

広報 いんざい

特 別 号

平成 27 年 3 月 21 日発行

発行：印西市 編集：秘書広報課広報広聴班
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476 42 5111 (代) F A X 0476 42 7242
ホームページ <http://www.city.inzai.lg.jp/> E メール home@city.inzai.lg.jp



提供＝読売新聞社

印旛沼をスポーツの拠点に （百年の計）

——雄大な自然の中での水上競技——

千葉県北部に位置する印西市は、「水上スポーツ 100 年の計」を提唱し、東京五輪ボート、カヌー競技場の印旛沼誘致をめざします。

世界と日本のアスリートが鍛錬する場、さらには印西市民、子どもが雄大な印旛沼の自然の中で水上競技に親しみ、健康づくりをする場を整備することを印西市は「100 年の計」とします。この「100 年の計」は、オリンピック競技場の「後利用」計画ではありません。むしろ逆で、オリンピック競技における印旛沼の利用は、「100 年の計」から見れば、「先利用」と言うことができます。

印旛沼は成田から 15 キロ圏、東京都心から 40 キロ圏という好立地であり、会場整講費用、波、風などの条件面でも優位性があります。

「100 年の計」を推進するため、印西市はボート、カヌー競技の練習場、艇庫、合宿所を整備、両競技の日本における拠点になります。

今後、50 年、100 年にわたってボート競技、カヌー競技の選手強化の基地になります。

オリンピック・パラリンピック競技開催をきっかけに印西市は「国際スポーツ交流」を推進します。市民と子どもたちは、自らスポーツに親しむとともに世界・日本のアスリートをもてなし、世界に目を開き、国際社会の中に仲間をつくっていきます。

（2 月 23 日の報道配布資料から抜粋）

板倉正直市長は、オリンピック・パラリンピックのキャンプ地等を推進するために「市長と語るタウンミーティング」（意見交換会）を開催します。

現在、ボートとカヌーの競技場として予定されている東京湾の「海の森」は、海水であり、また、波・風の影響などから、選手側から不適であると懸念する声も上がっています。

そこで、板倉市長は、印旛沼の水辺を開発し、オリンピック・パラリンピックのボート、カヌーの競技場、事前キャンプ地を誘致することを決めました。

（左記百年の計参照）。

しかしながら、3 月 12 日に開催された市議会において、オリンピック誘致関連予算が削除されたため、市では、誘致のために予算を使うことができなくなりました。

五輪競技場は来月にも決まると言われています。また、キャンプ地誘致の東京五輪組織委員会の受け付けも開始されました。

市では、市民のみなさんの意見を伺い、理解を求めながら、オリンピック・パラリンピックの競技場、事前キャンプ地の誘致に取り組んでまいります。

市長と語るタウンミーティング

市長が市民のみなさんと直接対話し、ご意見を伺います。開催日程は下表を参照。
※駐車場に限りがあるので、公共交通機関をご利用ください。

◎開催日程◎

日時	場所
4 月 4 日(土)・①午前 10 時～、 ②午後 1 時 30 分～	①ふれあい文化館・視聴覚室（原） ②文化ホール・多目的室（大森）
4 月 5 日(日)・午後 1 時 30 分～	印旛公民館・視聴覚室（瀬戸）

閏秘書広報課オリンピック・パラリンピック推進室（☎内線 45、416）。

オリンピックを語る 4月4日 5日 タウンミーティング開催